

2018年度 事業室 未来開拓委員会 方針

委員長／三上 隆広 副委員長／佐藤 幸信 委員会幹事／岡本 壮一郎
委員／塩谷 英和 鎌鹿 玄介 川端 康寛 福島 和弘
堀 哲也 前田 剛臣

委員長 三上 隆広

1 近年、第4次産業革命の進展により、新技術を様々な分野で活用していく取り組みがな
2 され、人々のありとあらゆる生活を知的システムで補助したSociety 5.0社会が
3 到来しようとしています。我々はその新技術の動向を把握するまでに至っておりません。
4 我々青年経済人として近い将来訪れる超スマート社会を見据え、地域に活用できる新技術
5 を見定め、住民とともに受け入れる体制を整え、函館の発展につなげる必要があります。

6 まずは、メンバーが新技術との融合からなる地域発展の可能性を認識するために、最先
7 端技術の動向を把握し、良きものを見極める力を養うとともに、函館の魅力を多角的な視
8 野で探究することで、超スマート社会で柔軟に対応していき、地域発展を創造できる意識
9 を醸成します。そして、地域の先導者として函館の現状を把握したうえで新たな魅力を見
10 出すために、函館の魅力や課題を再認識し、地域課題を強みに変え活性化につなげている
11 地域の解決策を検証することで、課題解決に向けての意識を高めて行動喚起につなげます。
12 さらに、地域住民とともに函館を活性化していくために、函館の特色と最先端の技術を活
13 用して掛け合わせた今までにない新たな魅力を見出すことで、多くの共感と感動を得なが
14 ら地域住民との強固な信頼関係を築き、地域発展に向かう機運を高めます。また、我々の
15 運動が地域に大きな波及効果を生む源とするために、函館青年会議所運動の一年間の集大
16 成を多くの地域住民に伝播することで、住民一人ひとりに我がまち函館への愛着と誇りを
17 持っていただくとともに、我々の地域における存在価値を高めます。

18 我々は常に変わりゆく時代を見極める力を持ち、イノベーションを起こせる人材へと成
19 長を遂げ、時代にあったビジョンを描きその想いを地域住民につなぐ懸け橋となり、函館
20 の文化と最先端の文明を掛け合わせた活気あふれる新時代のまちを創造します。

21

22 事業計画

- 23 1. 4月例会の運営
- 24 2. 7月例会の運営
- 25 3. 10月例会の運営
- 26 4. 新入会員の拡大
- 27 5. 各委員会及び出向者への協力
- 28 6. 各種大会・会議への参加

29

2018年度 一般社団法人 函館青年会議所 未来開拓委員会 年間事業フレーム

1. 4月例会の運営
2. 7月例会の運営
3. 10月例会の運営
4. 新入会員の拡大
5. 各会員及び出向者への協力
6. 各種大会・会議への参加

事業別作業スケジュール

事業名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
4月例会	上程 作業等					協議	審議	実施	報告							
7月例会	上程 作業等							討議	協議	審議	実施	報告				
10月例会	上程 作業等									討議	協議	審議		実施	報告	
新入会員の拡大	上程 作業等	実施			実施											
各会員及び出向者への協力	上程 作業等	実施			実施											
各種大会・会議への参加	上程 作業等	実施			実施											